

**【実践発表Ⅲ 京都市】**

「学校安全総合支援事業」

～学校安全推進体制の構築～

（京都市の取組について）

京都市教育委員会 体育健康教育室

指導主事 別井 真一 氏

令和3年1月29日（金）

令和2年度  
文部科学省指定

# 「学校安全総合支援事業」

～学校安全推進体制の構築～  
（京都市の取組について）

京都市教育委員会

体育健康教育室

別井 真一

# 地震による被害

1995年  
阪神淡路大震災

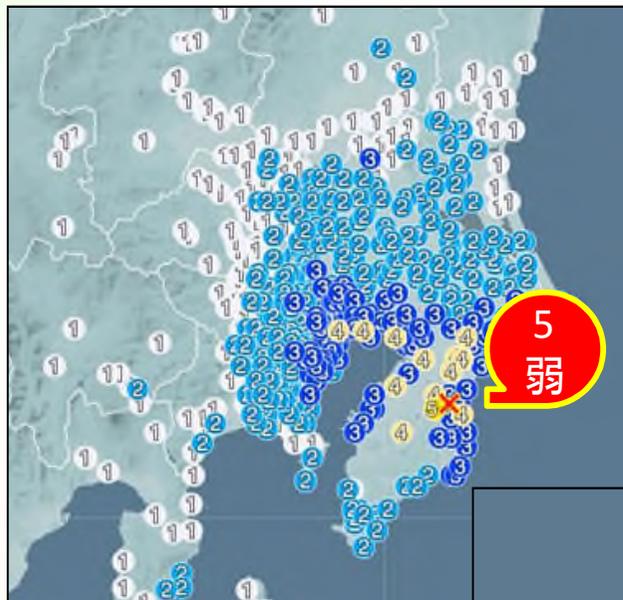


2004年  
新潟中越地震

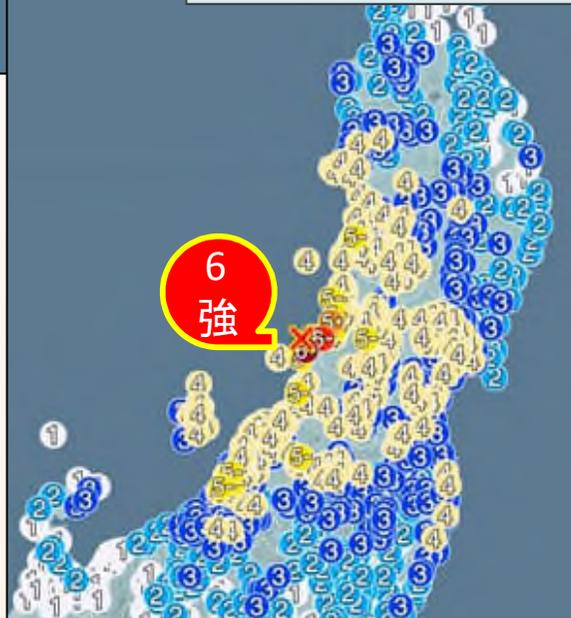
2011年  
東日本大震災



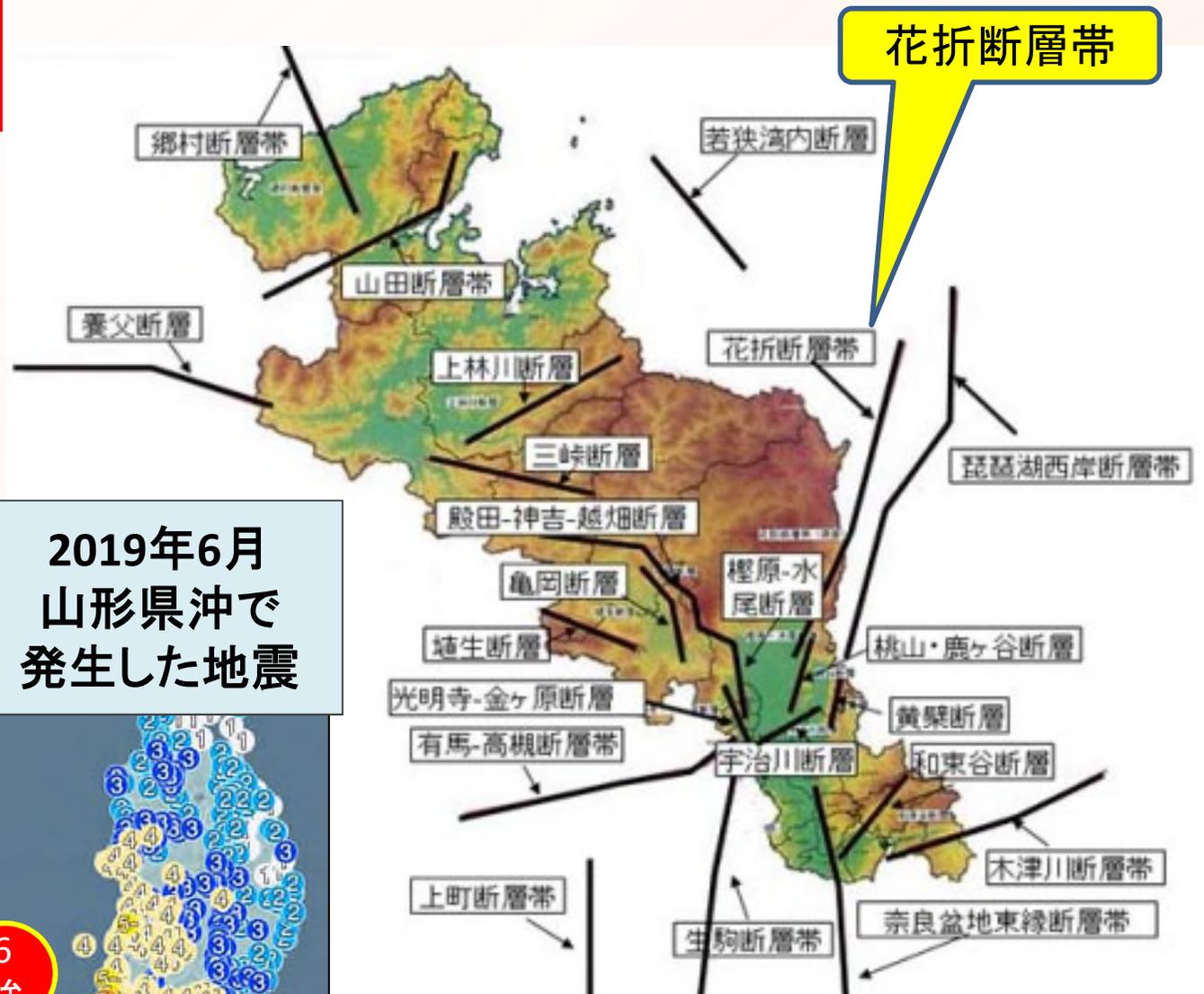
# 自然災害の多い国 日本



2019年5月  
千葉県南部で  
発生した地震



2019年6月  
山形県沖で  
発生した地震



京都府の  
断層

# 「総合遊具」の事故事例 (R2年度)

日	曜日	発生時間	学年	時間帯	状況	ケガの程度
5/8	金	13:40	4年	休憩時間	特例預かり中，総合遊具から足を踏み外し落下転倒した。	左肘骨折
8/31	月	10:00	2年	授業中	体育で総合遊具の学習をしている際，3階から転落し頭部を打った。	右側側頭部骨折
9/23	水	16:00	4年	休憩時間	3段目の真ん中をくぐっている途中足を滑らせて落下。	橈骨遠位端骨折 9/29手術予定
10/20	火	15:45	3年	休憩時間	2階から手を滑らせ落下，太ももを棒で打った。	左大腿骨頸部骨折
10/26	月	15:30	2年	休憩時間	2階から3階に上がる途中で手と足が滑り落下。バーで手・頭うつ	頭がい骨後頭部に ひび
10/27	火	13:15	4年	休憩時間	総合遊具の滑り台から落下したので救急搬送。	異常なし
10/30	金	11:00	1年	授業中	総合遊具から落下転倒し骨折しているようなので救急搬送。	右肘の下脱臼
11/16	月	15:30	2年	休憩時間	すべり台の2m弱の高さから落下。横向けに1回転して落下	異常なし
11/27	金	13:10	2年	休憩時間	休み時間終わりに急いで降りようとして滑り棒の間から落下	頭部CT検査の結果異常なし
12/1	火	15:30	2年	休憩時間	足を滑らせ3階から落下	骨折の疑いがあるので固定

# 遊具での事故事例より



3階・・・  
すべり台につながる踊り場  
の手前・・・  
1階まで吹き抜け・・・  
この位置



災害は、いつ、どこで、起きるのか  
また、どれだけの被害を及ぼすのか  
予想することが難しい。

**※特に地震は、突発的に発生！**

学校生活におけるケガや事故について  
ても、いつ起きるのか、また、ケガの程  
度についても予想できない。

**※救急搬送は、突発的に発生！**

## 【文部科学省「第2次学校安全の推進に関する計画」】

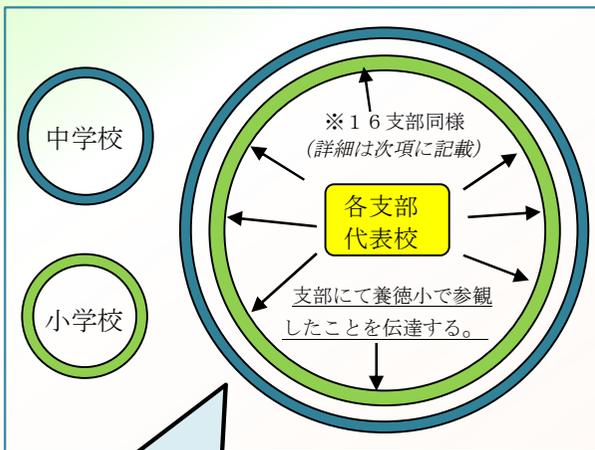
⇒全国のどの学校においても組織的に学校安全に取り組むための体制を構築し、学校安全計画等の策定・検証を通じた取組の改善を行うことや、質の高い学校安全の取組を推進することが必要であることが明記されている。

## 【京都市の事業取組】

⇒市内全ての学校に設置している学校安全・地域安全の中核となる教員(学校安全主任)を中心に、学校安全・地域安全の取組を推進する。

⇒中学校区内の小・中学校が合同で行う訓練や研修会を通じて、連携体制を構築するとともに、各校で作成している「緊急時対応マニュアル」の検証・改善や、安全及び安全教育の意識向上が図られるよう、実施計画を策定する。

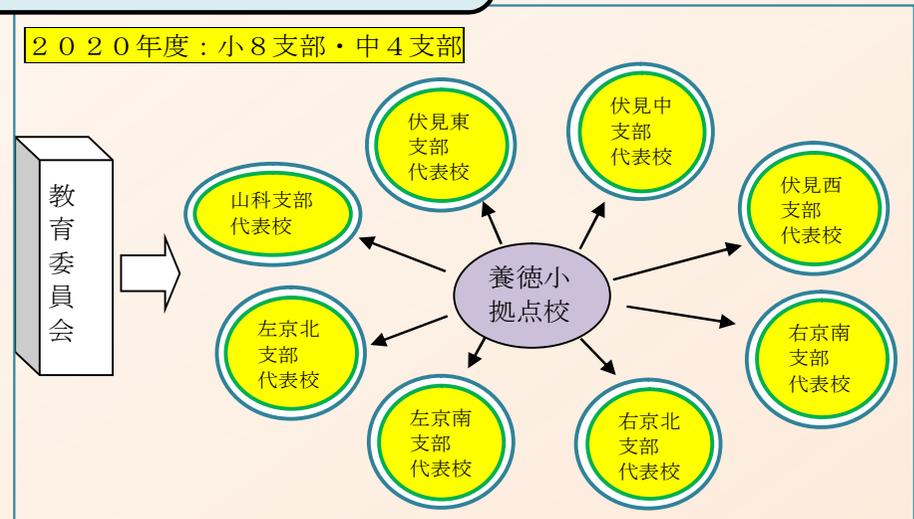
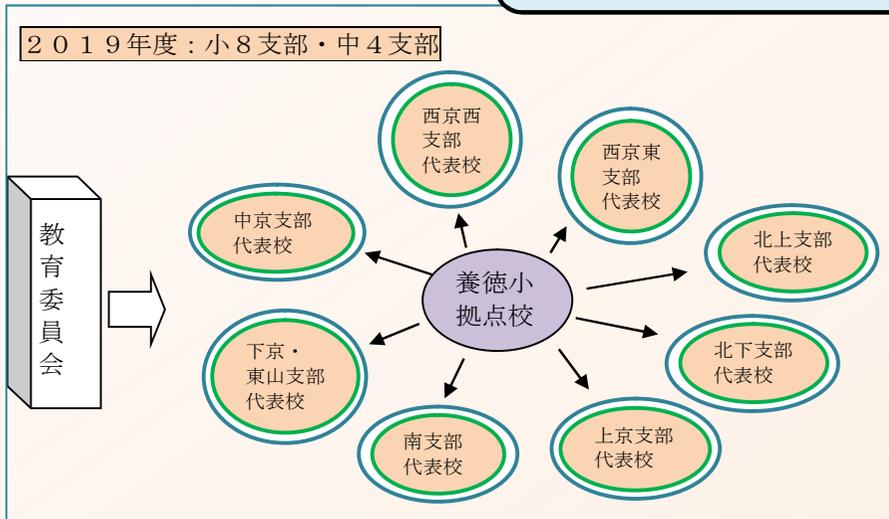
# 事業のイメージ



研修や参観を通して、各校での「避難訓練」と「教職員の実地訓練」に生かしていく。  
 ※アンケートの実施(教職員)

## 京都市立 **161** 小学校で 緊急時に対応できるスキルを レベルアップできるように！

拠点校(養徳小)を中心として、訓練のモデルを提示。  
**2年かけて小学校16支部に発信。**  
 1年ごとに8支部から支部代表校を選び取組を進める。

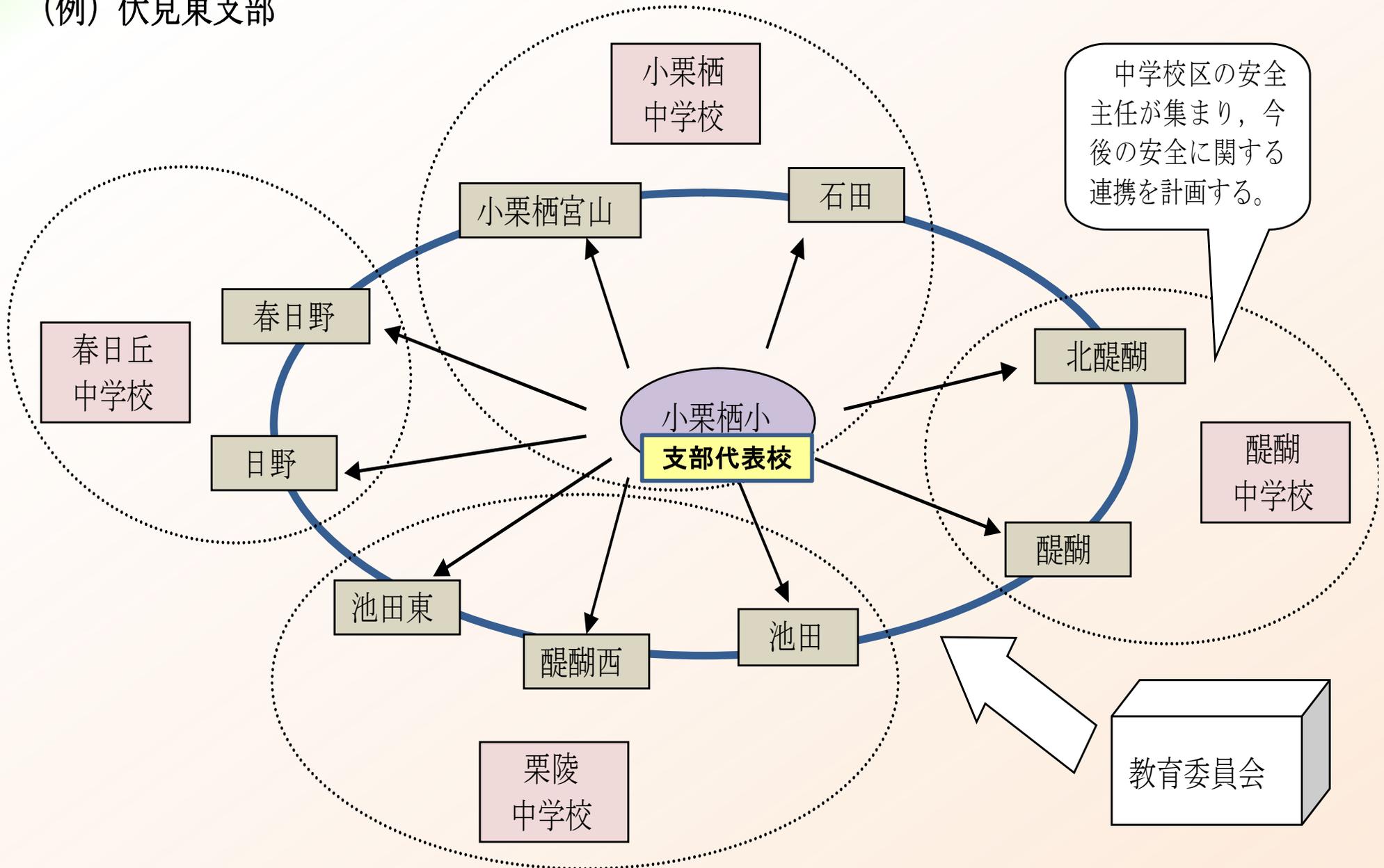


# 支部での伝達

＜高野中学校ブロック(京都市セーフスクール指定)での活動例＞

- ・3校合同緊急時(事故, 不審者, アレルギー等)対応実地訓練
- ・3校合同火災対応研修(消防署共同: 消火栓・消火器類の使用について)
- ・安全教育の進め方の共有(授業参観含む) など

(例) 伏見東支部



# 公開訓練 (避難訓練)

## 考えて行動する避難訓練

### 【内容】

避難経路の安全を教職員が確認しながら連絡を取り合って二次避難につなげる避難訓練。

### 【ねらい】

状況を確認し、安全な避難行動について判断して行動する力を身につけるために。

児童・生徒が、実際の緊急時には何が起きるかわからないということを認識し、気づきの眼を養える訓練をめざす。



トランシーバー等を活用し、避難経路や校内の安全等を連絡し合い、情報共有することを常に意識する。



想定外・不測の事態を設定する。



# 公開訓練 (実地訓練)

「教職員が迅速且つ  
適切に動ける実地訓練」

## 【内容】

緊急時における役割を理解し、  
適切且つ迅速な対応ができる  
ようにする実地訓練。

※訓練後の研鑽をマニュアル  
に反映する訓練

## 【ねらい】

緊急時に、実際に動けるよう  
にするために。



実際に事故が起こった場面を設定し、それぞれの役割で実際に動く。各場所で適切且つ迅速な行動をめざす。

実地訓練後には振り返りを行い、今後の訓練やマニュアルに反映させる。



机上型の訓練も役割の確認に効果的である。

# 各校での取組の様子



## 総合遊具

- ・すべり台が付いている。
- ・地面の所が1階
- ・すべり台は3階からスタート。

## AED

必要かどうか、判断に迷った時は使用開始！



**消防署との連携**  
専門的な知識を学ぶ。

**胸骨圧迫**  
呼吸が無ければ、  
すぐさま開始



# 各校での取組の様子



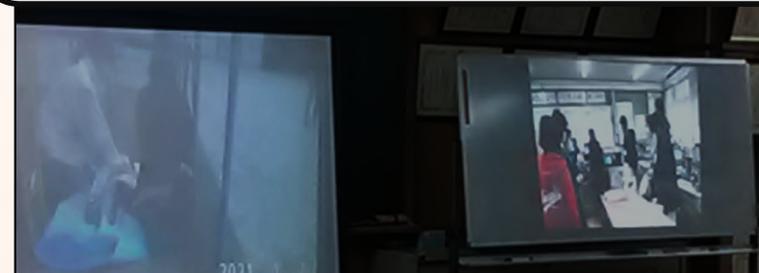
## 本部の動き

- ・記録, 保護者連絡, 救急車要請が行われます。



## ふり返り

ここでの意見交流がとても重要！  
↓↓ 訓練の様子を撮って見るのも効果的 ↓↓



**体育館での訓練**  
とび箱の授業中の落下  
事故を想定して。

**食物アレルギー対応**  
アナフィラキシーを起こした  
ことを想定して



## めざしているもの

- ・数年後、京都市内のどの学校・園でも「**考えて行動する避難訓練**」と「**教職員が迅速且つ適切に動ける実地訓練**」が、それぞれ工夫して行われていること。
- ・中学校ブロックの合同研修などが行われる際は、**安全についての部会**が設けられること。

児童生徒の**安心**， **安全な学校生活**に向けて